

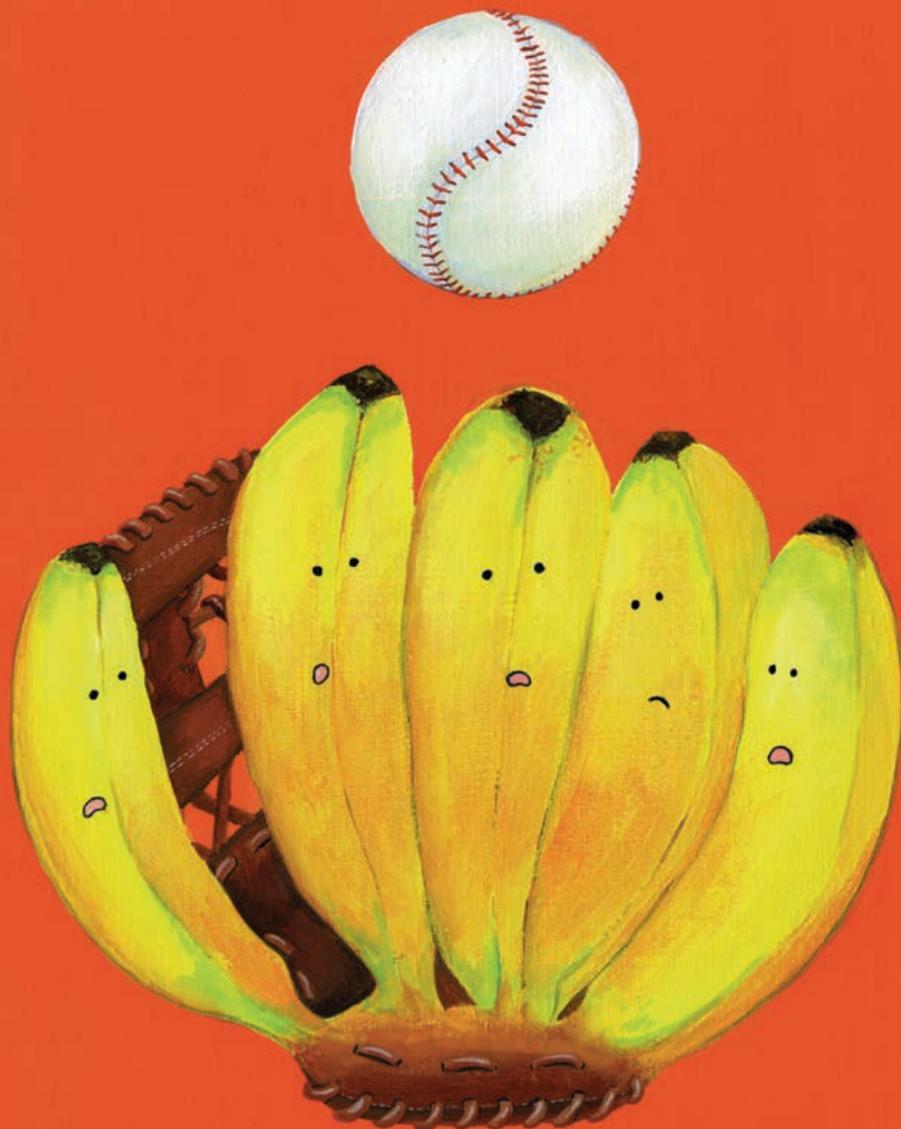
つなぐ

ふるさと宇和島／南予

秋号

2024 No.28

ご自由にお取りください



特集

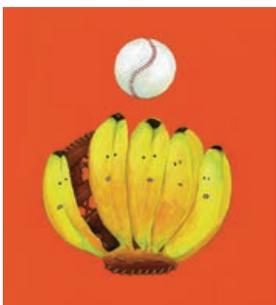
天台宗の修業寺は、どうして鬼北の地につくられたのか 国史跡 等妙寺旧境内

● インタビュー「ふるさと宇和島を芸術の街にしたい！」 アトリエぱれっと 代表 清家 由佳

つなぐ 2024 September 秋号

C o n t e n t s

- 01 エッセイ 「じゃこ天騒動と麦みそ騒動」 宇神 雪斎
- 02 インタビュー アトリエばれっと 代表 清家 由佳
「ふるさと宇和島を芸術の街にしたい！」
- 04 Topics 絵日記作家 神山恭昭 (UWAJIMA そこそこ展)
- 06 特集 天台宗の修業寺は、どうして鬼北の地につくられたのか
国史跡 等妙寺旧境内 (等妙寺旧境内とは)
- 08 なぜ、鬼北の地につくられたのか
- 09 等妙寺旧境内の見どころ (史跡見学コース)
- 10 管理人のオシどころ 富田 満久
- 11 奈良山等妙寺歴史交流館
- 12 撮り歩きなんよ 「コスモスの上を列車が走る」 写真家 北濱 一男
- 14 開館 50 周年 伊達博物館の始まりと歩み 渡邊 佑輝
- 16 文ちゃんにとつぼの
予士線のあの人に会いたい 9 米農家 渡辺 吉男さん
- 18 いのちはなし
ゲーチヨキパー 9 「にがてだけと にがてだっただけと」 毛利 弘子
- 19 蘇家神社の神輿 愛媛大学地域協働推進機構 准教授 大本 敬久
- 20 医 療 「狭心症について！」 沖内科クリニック 副院長 沖 良隆
- 21 食めぐり 骨に大切な栄養素「カルシウム」をとる 管理栄養士 柑橋ソムリエ 和田 広美
シーフードマイスター
- 22 お気楽俳句 小野 更紗 / (絵) 律川 エレキ / おすすめ本 岩崎書店
- 23 つなぐ美術館 ベにばら画廊/アトリエばれっと
- 24 うわしん若手経営塾OB 若だんな 16 (俳) 清水 飯金 専務取締役 清水 久雄さん
- 25 斗酒百篇 / 4 コマ漫画 「きさいやくん」



表紙 / 「バナナ捕球」
作 / ありま三なこ

プロフィール

1987年生まれ 愛媛県宇和島市出身
子供の頃から絵を描くことが好きで、大学の卒業制作で、しかけ絵本を作り、それから絵本に興味を持つ。2016年第8回 be 絵本大賞受賞、絵本作家デビューを果たす
現在は個展やイベントへの出品等で活躍中



ほおずき (撮影/北濱一男)



つなぐ秋号 No.28
〒798-0041 宇和島市本町追手 2-4-10
0895-23-7000
年4回発行 (季刊誌)
配布先 / 宇和島信用金庫各営業店ほか
発行 / 宇和島信用金庫
編集・構成 / 業務推進部 広報文化室 川尻純滋
本誌掲載内容の無断転載を禁じます

いささか旧間に属するが、秋田県の佐竹という知事がじゃこ天を「貧乏くさい」とけなし、大いに物議をかもした。

じゃこ天は宇和島では昔から「てんぷら」といい、ホタルジャコ（はらんぼ）を原料とするジャリジャリした食感のものを「皮てんぷら」、蒲鉾の原料であるエソを使ったものを「身てんぷら」と呼んできた。じゃこ天は「皮てんぷら」である。

実を言えば、私もじゃこ天（皮てんぷら）を貧乏くさいと思っている。思っているが、小学生の頃、「やったあ、カレーだ！」と喜んでいたら、肉ではなくじゃこ天だったときの絶望感、高校生の頃、弁当箱の蓋をあげるとじゃこ天1枚だけだったときの崖から落ちたような気分、そういう経験のある私ならともかく、秋田のくそジジイに「貧乏くさい」などと言われる覚えはない。

失言でしよけている佐竹知事を、「あんまり気にしないでください」と愛媛県知事は慰撫していたが、とんでもない、猛省すべきだ。結果的には、「うちの知事が失礼なことを言ってますみません」と注文が来るなど、一時的ではあれ、売上げが伸びたというから、まあ、めでたしめでたしではある。

くそジジイと書いたが、佐竹知事は世が世であれば殿様である。秋田久保田藩佐竹家の殿様。ただし、本家筋ではなく分家である。佐竹家といえは、宇和島藩9代藩主伊達宗徳の継室（後妻）が佐竹佳子（佳姫）で、伊達博物館には輿入れの際に使用された豪華燦爛な女乗物（おかご）が展示されている。佳姫の写真も残っており、なかなか

じゃこ天騒動と麦みそ騒動

宇神 雪齋



山内味噌。ビニール袋につめて口を輪ゴムでしばっただけ。これが宇和島、これでよいのだ。

かの秋田美人。

佳姫に関して、秋田県湯沢市の郷土史家の方から質問があり、情報交換をしたことがある。お礼に稲庭うどんといぶりがっこを頂戴したが、いずれも湯沢が発祥の地という。

うどんは好きだが、「うどん県」などいばっている香川の讃岐うどんは願い下げである。有名店をはしごしたが、どれもまずかった。うどんは何といつても福岡である。「かろのうどん（角のうどん）」といって、店も多い。太めの麺は、愛媛のいわゆる「腰抜けうどん」よりも柔らかい。あごだしの甘口のつゆが絶品で、載っている大きなごぼうのてんぷらもうまい。

稲庭うどんは干しうどん（乾麺）で、麺は細く、つるつるの食感が風味絶佳。全国で最も上品なうどんが稲庭うどんだと思う。いぶりがっこの第一印象は、悪いが、「貧乏くさい」である。沢庵の燻製だから、見た目がよくない。しかし、薄く切っただけだと、味も香りもよく、日本酒のつまみにいいし、お茶漬けにもいい。チーズを載せると、ワイン、ビールと相性抜群。

さて、「つなぐ」の前身（夏宮）が麦みそ特集だったので、以下、麦味噌について書く。麦味噌を味噌と表示するのは法令違反である、と愛媛県が宇和島の業者に命じ、大騒動になった。実に馬鹿げた話であるが、結局、県が謝罪して一件落着。

県の指導を受けた井伊商店、伊予醸造、山内商店の店主のコメントが、「つなぐ」に紹介されていたが、私は山内の味噌を使っ

ている。母親がずっと使っていたからである。父親が禿げていたから、私が禿げないように、毎日、豆腐とワカメの味噌汁を作ってくれた。ここ数年、かなり薄くなってきたので、ワカメの効果には疑問がある。山内の味噌は甘いのが気に入っているが、昔はもっと甘かったように思う。

味噌汁は、赤味噌や白味噌（いずれも米味噌）も悪くはないが、やはり麦味噌がいちばん。麦味噌の場合、出汁は大羽のイリコに限る。鯉の削り節では麦味噌の強さに負けてしまうからである。

浦方（海岸部）には、「ふえんの味噌汁」というものがある。「ふえん」とは「無塩」で、鮮魚のことである。出汁に鰯の切り身や小鰹をまるごと使う。昔、一度だけ、御庄（愛南町）で食べたことがある。ガラガラと脂が浮いて、ちよっと気持ちが悪いが、まずくはなかった。麦味噌は鮮魚にも負けないのである。



宇神 雪齋 うがみせつさい

作家・音楽評論家

小説は『水のゆくえ』（角川書店）『ヴァルハラ城の悪魔』（講談社）など。

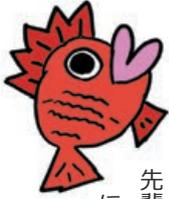
近年は『宇和島藩』『伊予吉田藩』『幕末の女医楠本イネ』『宇和島伊達家の女性たち』などの歴史書がある。

近著は『三島由紀夫 VS 音楽』。

本名 / 神應幸男

「ふるさと宇和島を芸術の街にしたい！」

アトリエぱれっと 代表 << SEIKE YUKA 清家 由佳



今回は、宇和島市で絵画教室とギャラリーを経営する、アトリエぱれっと代表の清家由佳さん(52)にお話を伺った。

小学生の頃は暇さえあれば絵を描いていて、絵の上手な従姉に憧れて漫画家になろうと思っていた。しかし、進学した中学校には美術部がなかったためデニス部に入った。

大きな転機は、3年の総体が終わった6月のある日、突然現れた。担任から「そんなに絵が好きなんだったら松山の済美高校の美術科に進学したら」とすすめられて、「えーっ、そんな夢の様な学校があるんですか? 行きます」と即答した。

しかし、当時、松山の高校へ、しかも美術科に進学するという前例はなく、母から猛反対を受けるも、父が理解を示してくれて、美術科進学への道は開かれた。それから毎日、朝と放課後、美術の先生からデッサンの指導を受け受験へ備えた。

入学した美術科では、毎日2時間、美術の授業があり、まさに夢のような日々だった。1年目の寮生活は、先輩のしごきや理不尽なルールに苦しめられたが、持ち前の負けん気と明るさで乗り切った。

高校2年生の頃から服飾デザインに興味を持ち、ファッション雑誌を

買いあさり、暇さえあればデザイン画を描いて著名なデザイナー達も通った東京の文化服装学園に行こうと思っていた。

しかし、3年生のある日、親が担任に呼ばれ、美術系大学への進学をすすめられた。思わぬ形で横やりが入ったが、絵が描けるのならと奈良芸術短期大学へ進学した。

大学では教員免許が取得できるので、母校(三間中学校)で教育実習を受けたが、そこでの子どもたちとの交流は想像以上に楽しく、「先生もいいもんだな」と思い受けた教員試験に見事合格し美術教諭となった。

教員生活では3つの中学校で教鞭をとったが、15年目に3年後に辞めよう決めていた。その理由は、「何千人もの子どもたちと接してきて、芸術の道に進んだら凄いくことになるだろうな、という才能の持ち主に出会ってききましたが、保護者に進路の話をする時、ほとんどの場合、『芸術では食べていけない』とか『あくまでも趣味だ』とかと言われて子どもたちの進みたい道が閉ざされていくのを目の当たりにしてきて、自分がサポートしたいと思っただけです」

そして、2010年に教員を辞め、20畳ほどの小さな絵画教室をオープンさせた。教室名は、「アトリエぱれっと(以下:ぱれっと)」。パレットには色々な絵の具のせて絵が描かれ



キッズアーティストによる作品→

るように、子どもから大人まで色々な人が混ざりあう教室にしたいと名付けた。当初17名だった生徒は、今では100人を超える。「ぱれっと」では、開設当初から、美術系大学へ進学を希望する子どもたちを受け入れ、進路実現に向けたサポート方法を模索した。まず手始めに、東京藝大を受験する子どもたちが通う予備校に講師を派遣し指導方法を学んだ。

そして2022年、地域の子どもたちが芸術や科学技術など自分の好きなことを見つけ、進みたい道に進めるよう環境を創り、サポートしていきたいと『一般社団法人キャンパス』を設立した。

こうした取り組みは、子どもたちだけでは無く、保護者の意識も変えていったという。更に、「宇和島を芸術の街に！」を掛け声に、『芸術プロジェクト』を立ち上げた。

「美しいものを美しいと感じる心と、ひとり一人の個性や表現の違いを認め合うことの大切さ。新しく生み出す創造力。芸術には人間の根本的で大切なモノが詰まっていると思えます。芸術を知ることによって人生が豊かに変わっていくと信じています。そして、宇和島で芸術を学べ、経済的にも支えられる環境づくり、子どもたちの可能性を広げられる精一杯のこ

とを考えていきたいと思っています」

また、今年度から愛媛県と東京藝術大学と県民が取り組むアートコミュニケーションプロジェクト※、『アートベンチャーエヒメ』のプロジェクト主体となるアートコミュニケーション(ひめラー)にも採用されていて「新たな取り組みにワクワクが止まりません」と笑う。

今後の事を聞くと、来年4月にギャラリーカフェの開設を予定しているとのこと。現在のギャラリーは2階という事もあって、車椅子利用の方や体の不自由な方に来て頂くことができなかったが、新店舗では、ギャラリーを1階にしてバリアフリーにする予定だ。また、併設するカフェは芸術と癒し、寛ぎの空間にしたいという。

一方、現在の「ぱれっと」は、そのまま残して、より多くの人に楽しんでいただける新たな芸術空間としたいと考えた。

インタビュを通じて彼女の芸術へ対する半端ない熱量を感じた。芸術と地域、そこに住む人々、そしてアーティストを大きなパレットの上と並べ、彼女が描く絵(夢)の完成(実現)が楽しみだ。

インタビュ・構成/川尻純滋



※) アート(文化芸術)を介して人と人、人と地域をつなぎ、そこから生まれる新たな価値や関係を社会に広げ「愛媛の未来を創造する」アートコミュニケーションプロジェクト。



高校生アーティストグループ※「アーティーン」が宇和島 教室風景
信用金庫 100 周年記念ポスターを制作
※随時メンバー募集（ロゴやパッケージのデザインのご相談にも応じます）



キッズアーティストによる、
みまのパッケージデザイン

清家 由佳 1972 年 宇和島市生まれ

1990 年 済美高等学校 美術科卒業 1992 年 奈良芸術短期大学卒 美術教諭として 18 年間勤務 2010 年 絵画教室アトリエばれっと開業
2018 年 店舗拡大の為移転 ガallery・絵画教室・書道教室併設 2022 年 一般社団法人キャンバス設立

絵日記作家 神山恭昭

こうやま やすあき

愛媛新聞のシニア面で19年続く人気連載「そこらへん日記」の執筆で絵日記作家の神山恭昭さん（75）が、友人作家たちと宇和島市でグループ展を開催することになった。

高校の事務職員だった神山さんは仕事をしながら文筆のほか絵画や彫刻、パフォーマンスなど多岐にわたる表現活動を40年以上にわたって展開してきた芸術家だ。また同時に、〈哲学カフェ〉〈教室法人ひるまの月〉など、さまざまな文化的交流の場を主宰している。

著書には、『絵日記 丸山住宅ものがたり』、『いつもの絵日記』、『電信柱と寂しい夜』、『わしの新聞』、『わしの研究』、『いろとりどりのテント』、『浮游湯蕩』（堀内統義と共著）があり、今年3月には小学館から『決定版 わしの研究』が出版された。

『決定版 わしの研究』の帯紙には神山さんと交流のある作家の椎名誠さんから「神山さんは、まさしくほそぼそ芸術家だ。どーだまいったか、と力で押し通していくような芸術とは対極にある神山さんの世界を、たくさんの人に知ってもらいたいと思っっている」との言葉が添えられている。



（そこらへん日記紹介）



愛媛新聞2018年9月25日掲載
「そこらへん日記」No.330



愛媛新聞2021年6月22日掲載
「そこらへん日記」No.313



愛媛新聞2024年7月29日掲載
「そこらへん日記」No.459

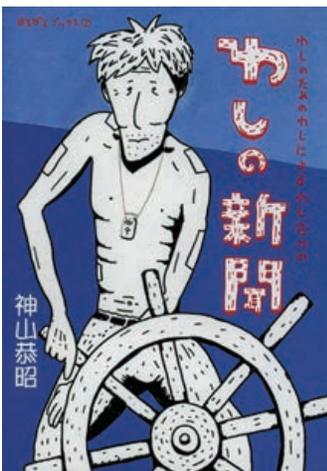
（著書紹介）



『決定版 わしの研究』小学館
定価 2,200円 A5版 160頁



『新版 絵日記 丸山住宅ものがたり』創風社出版
定価 1,980円 単行本 144頁



『わしの新聞』創風社出版
定価 1,760円 単行本 223頁



「瘋癲老人日記より」



「入れ歯」



「家政夫は寝た。目を開けたまま」



「ズレコ」



「太陽がいっぱいだらけ」



「自股像 2023 版」

U W A J I M A
 そこそこ展
 2024. 10. 1(火) ~ 10. 6(日) 11:00 ~ 17:00

アキコ サトー / イワモト ジロウ / 宇都宮 修 / 大早 友章 /
 海野 貴彦 / 工藤 冬里 / 神山 恭昭 / シゲ タカム /
 品川 奈津美 / 長崎 由紀子 / フジヤマ バロン / 筆脇 伸子 /
 町田 紗記 / 松本 秀一 / 森本 猛 / 森本 秀樹 (五十音順)

様々な困難にもめげず、各地でそこそこ創作活動を
 続けている人々の展覧会です。

会 場 / アトリエぱれっと

宇和島市伊吹町甲 1083-1-2F TEL 090-7784-4703



E V E N T

「ほそぼそ芸術 ささやかな天才、神山恭昭」
 上映会&トーク&朗読ほか(上映 98分 / 品川亮監督作品)
 2024.10.5 Sat.16:00~/10.6 Sun.15:00~

トーク登壇者 品川亮(監督)・海野貴彦(プロデューサー)・山中
 カメラ(音楽)・町田紗記(AP)・神山恭昭(75)

イベント参加費用 1,000円 (展覧会は無料です)

天台宗の修行寺は、
どうして鬼北の地につくられたのか
とう みょう

国史跡 等妙寺旧境内

見て歩いて楽しむ



等妙寺旧境内とは

時はおおよそ700年前の鎌倉時代末、天台宗の僧・理玉（りぎよく）が現在の鬼北町南西部、鬼ヶ城山系・郭公岳（かつこうだけ）の山中に修行寺を開きました。

平安時代のおわりから鎌倉時代にかけて世の中は飢饉や疫病が蔓延して乱れ、天台宗の総本山、比叡山においても仏道修行をないがしろにし、僧として守るべき仏の教えである戒律を破る者もありました。

このような風潮を憂えた僧たちが比叡山黒谷に集まり、僧たる原点を見つめなおし、宗祖である最澄の教えを復興しようとする戒律復興運動が興りました。彼らは最澄の伝えた十二年籠山行（ろうざんぎょう）を実践し、貴賤を問わず広く戒律を伝えるなど、布教や庶民救済活動を展開することで、乱れた世を仏の教えで導こうとしたのです。

やがてその流れは、京都東山の法勝寺（ほつしょうじ）を拠点として弟子を各地に派遣し、寺院を創設して全国へと布教活動を展開していくこととなります。その弟子の一人が理玉です。理玉は南方に戒律道場を建てるため、修行地を求めてこの地を選び、1320年に等妙寺を創建したのです。等妙寺縁起などによると、1330年には十二坊（智光院・福寿院・如意頭院・戒蔵院・浄土院・総室院・不動院・説性院・上蔵院・宝蔵坊・延命院・靈光庵）まで造

営し、そのほかにも山上に山王社や山下に十禅師権現・弁財天・不動堂など、密教道場としての威容が整い、末寺も72ヶ寺に及んだと記されています。

1331年には後醍醐天皇から勅願寺と定められ、山門以外では全国に4ヶ所しかない遠国四箇戒場の一つとなり、理玉から25世の旭栄まで60年にわたって栄えたと伝わっています。

その後、豊臣秀吉の四国征伐ののち、1587年、戸田勝隆の宇和郡入りの際、寺領や寺宝をすべて没収され、さらに翌年の火災により伽藍も焼失しました。隆盛を極めた名利も一度に荒廃したといえます。火災を免れた本尊の如意輪観音は麓に移され、そこに現在の等妙寺が再建されました。

やがて、かつての等妙寺は土に埋もれ木々に囲まれてひっそりと姿を隠し、知る人ぞ知る存在になりました。

「昔々、あそこに大きなお寺があったんだよ」平成2年（1990年）、地元の伝承を頼りに山に入って調べてみると、かつての等妙寺の痕跡が次々と現れました。さらに多くの関連遺跡も見つかり、山の信仰、鬼の信仰、観音信仰などさまざまな信仰が重なる聖地「奈良山」が広がっていました。等妙寺旧境内は、山岳霊場「奈良山」で行う修行の拠点でもあったのです。

400年の時を超え目覚めた等妙寺旧境内は、中世の山の神への信仰をはじめ、天台仏教

の戒律復興運動の具体的な姿を今に残す貴重な歴史遺産として、平成20年に国の史跡に指定されました。現在は、

約30年にわたる発掘調査を経て、奈良山等妙寺史跡公園として整備され、人々の憩いの場となっています。



等妙寺旧境内の地区構成
中心域の平坦部群は2本の谷川を境に大きく4つの地区に区分される

中世等妙寺の中心部鳥瞰（作画：香川元太郎）

なぜ、鬼北の地につくられたのか



空から見た奈良山

理玉は、南方の戒律道場を創るにあたり、どうしてこの地を選んだのでしょうか？

それは、等妙寺の背後にそびえる山岳「奈良山(ならさん)」に対する信仰が原点にあると考えられています。本尊の如意輪観音(にょいりんかんのん)(木造菩薩坐像…県指定)は鎌倉前期の作であり、鎌倉時代にすでに観音霊場として開かれていた奈良山に、のちに理玉が等妙寺を創設したという歴史の脈絡が見えてきます。

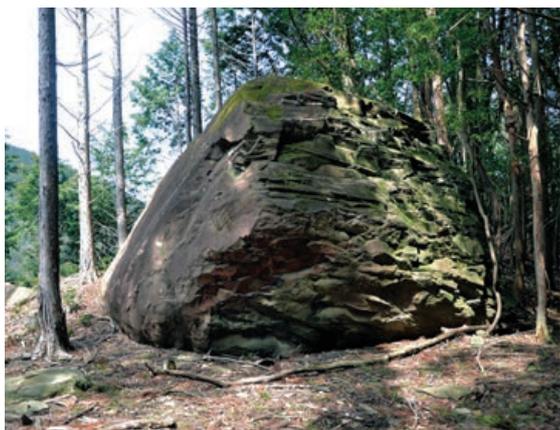
つまり、奈良山は古くから山岳霊場として、多くの僧侶や山伏たちが修行を行うパワースポットであったことから、理玉は比叡山に匹敵する修行地を求め、この地を選んだのではないのでしょうか。

奈良山ってどっ？

地図に「奈良山」という山はありません。「奈良山」は、等妙寺旧境内の背後に広がる標高1000級以上の山岳地帯であり、三本杭を中核とする鬼ヶ城山系の総称です。

また、理玉が建立場所を探す際に、鬼北の「鬼王丸」のルートでもある鬼王と段三郎との不思議な伝説も残されています。

地元の伝承によると、理玉の前に鬼王段三郎※が現れ、大岩を軽々と投げ飛ばし、落ちたところに寺を建てよ、と言ったと伝わります。そのとき鬼王の袂から転がり落ちた岩が「タモト岩」で、投げた場所が「鬼王峠」として現在も残っています。



正連寺駐場にあるタモト岩



現在の鬼王峠

※日本三大仇討として有名な曾我兄弟の家来。鬼王段三郎という一人の説もある。理玉が修行を終え、山を下りる途中、曾我兄弟の亡霊に出会い、成仏させたお礼に曾我兄弟と鬼王段三郎からもらったとされる仏舎利と玉は現在、等妙寺の寺宝とされている。また、鬼王らが住んでいた石の屋敷が「鬼ヶ城」と伝わっている。

等妙寺旧境内の見どころ（史跡見学コース）

《清水谷旧参道》

郭公岳の山腹に広がる修行寺、かつて等妙寺に向かう僧侶たちも、この沢沿いの道を通ったのでしょうか。マイナスイオン漂う木立の中を歩けば心も身体も癒されます。理玉が、馬を洗う曾我兄弟の亡霊に出会ったとされる場所は、参道途中にある「馬洗いの淵」だったのかも。

まずは福寿院跡。ここにはお風呂があり、境内に入る僧侶が身体を清めたと言われています。やがて石橋遺構（上の橋）が現れますが、そこから上は神仏の世界であり、橋はその

参道に沿って歩いていくと、左手には階段状に、かつて数々の坊や院があった跡が広がります。また右手には、寺院の中心部である如意頭院跡と本坊の石積みが見えてきます。

《中央地区》

清水谷旧参道を抜けると、目の前に「カゴ池の石積み」が現れます。それまでの静謐な雰囲気から一変、そこからは山中に開かれた旧境内の史跡が広がります。



福寿院跡から中央地区を臨む



清水谷旧参道と沢



展望場からの眺め

《如意頭院跡と本坊の石積み》

如意頭院跡は、本堂や本坊、庭園跡などが見つかった中世等妙寺の中枢部。最も重要な本坊客殿では、学問と修行を積んだ僧に戒師（師範）の資格を与える重授戒灌頂（じゅうじゅかいかんじょう）という特別な儀式が執り行われていました。

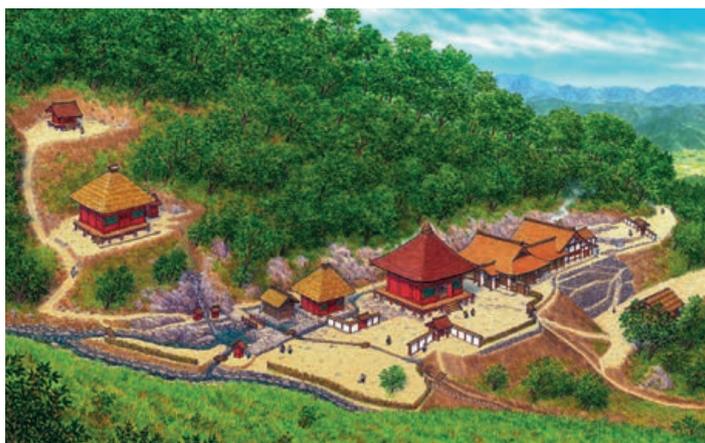


整備された如意頭院跡



本坊の石積み

現在、半立体復元された本坊客殿では、スマートフォン等を利用して、かつての授戒道場の様子をVRで見ることが出来ます。本坊建物を支えた石積みは、中世期では最大規模・最高水準の技術で構築されたもので、高さ6m幅25mの迫力ある石積みが眼前に迫ります。



16世紀頃の如意頭院（作画：香川元太郎）

史跡では、歴史を感じるほかに、野山に咲く植物や、時折姿を見せるタヌキやアナグマなど、豊かな自然に心も体もリラックスできます。季節ごとに表情を変える里山の風景に、あなたも癒されに来ませんか。

管理人のオシどころ

この春から奈良山等妙寺歴史交流館及び史跡公園の管理人をさせて頂いておられます。鬼北町移住3年目の富田です。

よく、「住んでいる人間はその土地の魅力を知らない」と言われますが（私も宇和島在住時はよく言われました）、なぜ理玉はこの地を選んだのか、なぜ遠国四箇所の



富田 満久
奈良山等妙寺歴史交流館

戒場として260年もの長い間栄えたのか、移住者の視点から私なりに考えてみました。

それは、この土地がいかにスピリチュアルなパワースポットであるかということに至ります。鬼北は四季折々、自然豊かな盆地で、奈良川をはじめ三本の川が交わる地形から晴れた朝にはかなりの確率で霧が発生します。早朝、霧の立ち込める神秘的な雰囲気のある参道を上ると、眼下に雲海を見下ろす絶景が広がります。如意頭院跡に立ち、東の空から朝日を浴びると何とも言えない神々しい気持ちに満たされます。

おそらく700年前、理玉和尚も山中修行においてこの光景に、比叡山にも匹敵するパワーを感じたのではないのでしょうか。

鬼ヶ城山系の北側、郭公岳の麓にかつてこれほどの山寺があったことを感じながら、癒しと憩いの空間に身を投じられる奈良山等妙寺史跡公園に来てみませんか。

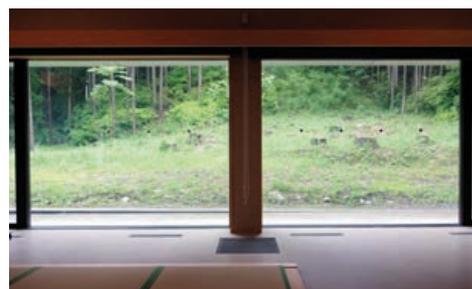
あなたのお越しを、歴史交流館でお待ちしております。



展望場から雲海を臨む

奈良山等妙寺歴史交流館

等妙寺旧境内をガイドンス（案内や説明など）する施設として、奈良山等妙寺歴史交流館が9月21日（土）オープンしました。史跡公園を散策する前の予備知識取得に、また散策した後の休憩に、どなたでも自由に利用できます。



■ 歴史交流館の見どころ

60年に一度しか見られない秘仏、等妙寺本尊である如意輪観音が半透過有機ELモニターに現れます。

如意輪観音は、令和3年国立博物館巡回展・伝教大師1200年大遠忌記念特別展「最澄と天台宗のすべて」に特別展示されるにあたりX線CT調査を実施したところ、像内頸部に木製八角五輪塔と仏舎利が納められていることがわかり、一躍注目と歴史的・学術的評価が高まりました。

それらを有機ELの美しい画面で分かりやすく見ることができます。

メインホールでは、大画面モニターやイラストパネルなどで、旧境内についてわかりやすく解説しています。また、畳も備えており、法衣など僧侶の着付け体験や、座禅やヨガ教室などイベントにも利用できます。憩いと交流の場として様々な形態で活用されることを期待しています。



史跡等妙寺サポーターの会 会員募集！

「史跡等妙寺サポーターの会」は、等妙寺旧境内を多くの人に知ってもらい、愛される史跡公園を目指して、来場者へのおもてなしを通じて、自らも歴史文化遺産を楽しみながら会員相互の親睦を深める活動を行っています。

おもてなし以外にも、史跡の現地モニタリングや環境美化活動、視察研修や交流学習会など楽しい催しも盛りだくさん。

あなたもサポーターになって、一緒に活動しませんか！

会費は年1,000円で、会の趣旨に賛同いただける方ならどなたでも入会できます。問合せ・申込みは下記まで

奈良山等妙寺歴史交流館

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日 ■入館料 無料

〒798-1356 鬼北町大字中野川1093番地 TEL (0895) 49-4685

■鬼北町教育委員会

教育課 文化スポーツ係 ✉ kyouiku@town.kihoku.ehime.jp



Access map



撮り歩きなんよ

北濱一男が撮りためた南予の風景



まるでコスモスの上を走るように見える予土線の1両列車

コスモスの上を列車が走る

松野町蕨生（わらびよう）のコスモス畑は、吉野生（よしのぶ）駅を出て広見川の鉄橋を渡ると車窓から右手に見えてきます。このコスモス畑は、蕨生で建設会社を運営されている金谷光人氏が予土線を利用する乗客の目を楽しめようと、自分の畑にコスモスの種を蒔いたのが始まりです。この日もコスモスと列車とを撮影する撮り鉄さんや見物の人で賑わっていました。雨後の午後、蕨生は近くに広見川と茶畑があるため霧が発生しやすい所で、赤い尾灯を入れて列車がコスモスの上を走るのイメージで撮りました。

【コスモス畑の行き方】

国道381号を蕨生天満宮の交差点を右折して広見川に架かる天神橋を渡り、予土線の踏切を通り、突き当りの三叉路を右折れすると右にコスモス畑があります。

余談ですが、江川崎の予土線沿いに往復3.5キロのあじさいの花を約650本植えて四季折々花を楽しめるようしているのも金谷氏です。



蕨生のコスモスが咲く頃になると予土線真土駅にもコスモスが咲きます



北濱 一男 写真家

1945年生まれ 宇和島市在住 学生時代からカメラをはじめ、本格的な写真歴は約20数年 奈良県明日香の写真家 上山 好庸氏に師事

「撮り歩きなんよ」(ブログ) <http://uwatu.blog135.fc2.com/>



おしらせ



公募展の様子



左から玉井幸子さん、夏井規子さん、亀井邦隆さん、一色美祐さん
岡本恵介さん、二宮敏子さん

第3回うわしんカレンダー公募展

今年で3回目となる宇和島信用金庫のカレンダー公募展が7月23〜28日の間、宇和島市内のギャラリー「ぱれつと」で開催され、令和7（2025）年版のカレンダーに採用する作品が決定し、8月26日、宇和島信用金庫の本部4階大会議室で表彰式が行われました。

- ◇最優秀賞 「ふるさと」 一色美祐さん
- ◇優秀賞 「九嶋大橋」 玉井幸子さん
- ◇佳作 「遊子の夕陽」 夏井規子さん
- 「霧の宇和島城」 二宮敏子さん
- 「宇和島城」 亀井邦隆さん
- ◇特別賞 「旭光」 岡本恵介さん



最優秀賞「ふるさと」 一色美祐：作

愛媛県県民文化会館メインホール

2024年12月13日(金)

昼 / 開場：12:00 開演：13:00 (15:00 終了予定)

夜 / 開場：17:30 開演：18:30 (20:30 終了予定)

■チケット 全席指定・税込 (詳細はHPにて)

(SS) 7,000円 (S) 5,000円 (A) 3,500円 (B) 2,000円

チケット販売・9月12日より子供無料席有 (小学生以上18歳以下)



ネット申し込み



子ども申し込み

(プレイガイド) 愛媛県 県民文化会館北入口2階第2事務室

Tel: 089-927-4777 平日9時〜17時

問い合わせ：office@ichiryumanbai.com

090-8280-3854 事務局・片桐 (月〜土10時〜17時)



一粒萬倍制 HP

(出演 五十音順)

能：武田文志 (親世流シテ方) 日本舞踊：藤間翔 慶祥芳之 藤間掬美奈 花柳茂義実

現代舞踊：内田くみこバレエスクール・山内悠里 居村采香 松本心美 中山智暹

弓削美保子 居村侑香 宇和島バレエ研究所・田村啓明 村上小夜

KAZZ DANCE SCHOOL・植村依登 ZERO Production・石井阿礼 大野菜穂

みあきバレエ研究学園・益田大雅 中岡千櫻

Mille Ange Danse Compagnie・黒田千恵子 濱田七海 山田華澄 毛利晴 二宮玲奈 小櫻凜

小川麻里子 大橋美帆 特別出演：後藤未芳子 鳥本亜依 (愛媛乃命)

花：高岡希実 山之内梓 高須賀柚奈

(演奏)

小鼓：望月左武郎 大鼓：重草由美子 笛：風聲晴久 箏：日吉章吾 中嶋ひかる

太鼓：indra- 因陀羅・石塚由有 奈々星悠華 尺八：櫻井咲山

ヴァイオリン：柳垣智子 田中郁也 ヴィオラ：江口志保 チェロ：谷口賢記

コントラバス：児島弘明 アコーディオン：増井裕子

和太鼓集団 鼓太郎・梅崎雅文 松下裕美 心参太鼓・三谷真治 三谷麗奈 三谷右京

特別演奏：チーム愛太鼓メンバー

(制作)

作・演出：松浦靖 舞台監督：梶原真樹 現代舞踊・振付：後藤未芳子

作曲：由有 織川ヒロタカ 花指導：高智美乃 音響：増田敬雄 写真：新井勇祐

衣装デザイン・製作指導：川上須賀代 衣装製作：松山デザイナー専門学校

衣装デザイン：押元須上子 WEB：松山デザイナー専門学校

舞踊交響詩 古事記 一粒萬倍 愛媛の女神と五穀豊穡の物語 作・演出 松浦靖

愛媛再上演決定

愛媛県県民文化会館
メインホール
2024年
12月13日(金)
昼・開場:12時 開演:13時 (15時終了予定)
夜・開場:17時30分 開演:18時30分 (20時30分終了予定)

主催：一般社団法人一和風情制作委員会 共同主催：えひめ文化振興コンソーシアム (主催：公益財団法人愛媛県文化振興財団)
後援：愛媛県 愛媛県教育委員会 愛媛県文化協会 松山市 松山市教育委員会 松山商工会議所 愛媛新聞社
文化庁・劇場 前美家等の子供読書活動推進事業

伊達博物館の始まりと歩み

伊達博物館の始まりと歩み

「今はなき国宝追手門の石垣を忍ばせる正面玄関のただずまい…」これは、伊達博物館の開館の様子を紹介した広報うわじまの冒頭文である。昭和49（1974）年6月16日、旧宇和島市制50周年を記念して開館した宇和島市立伊達博物館は本年で開館50周年を迎える。

さて、博物館で開催された第一回目の展示をご存じの方はいるだろうか。それは先程紹介した広報に記載がある。目玉は写真に写る宇和島藩七代藩主伊達宗紀を中心とした甲冑の数々。そして「花菱月丸扇紋散時絵女乗物」という九代藩主夫人佳姫の御駕籠。こちらの資料は現在は常設展示されていることから、見たことがある人も多いのではないだろうか。

しかし、当時の人々は初めて見る宇和島ゆかりの資料の数々にさぞ魅了されたことであらう。この展示を契機に50年間様々な特別展が開催された。その中で入館者数が一番多いのは、仙台との交流展である。



伊達博物館初公開飾りつけ準備OK

16日開催する伊達博物館では連日警察官の特別警戒をお願いするなど想像以上のものものしさの中で、伊達家関係者や職員は多忙をきかれましたが…開館を前に陳列も終り、出展物の解説書など諸準備も万事OK…一般公開をまっぴら…

開館第一回の出展物は、第七代宗紀（むねただ）所用の大鏡。これは將軍家御抱え具足師岩井与左衛門の作。兜は宗水作で、春日社燈といわれる逸品このほか、秋田久保田城主佐竹俊から九代宗徳（むねえ）に興入れの住（よし）姫が持参した、大名の嫁入り道具一式…中でも、月丸扇の定紋入りの、おかこ、など安政三年（1856年）当時の美しさをそのまま保存されております。

このコーナーは特に二婦人の目を曳くことでしょうか（写真は陳列された大鏡）

広報うわじまの記事

大坂冬の陣の功績から宇和郡の地に入部した伊達秀宗。そこから宇和島伊達家の歴史が始まるわけだが、秀宗の父はあの仙台藩祖伊達政宗。やはり、その人気はすさまじく、特に平成24（2012）年の秋期特別展「政宗見参！仙台藩伊達家と宇和島藩伊達家」では政宗ゆかりの資料を一目見ようと、約1万3000人が博物館を訪れた。

ちなみに来年は仙台市と宇和島市姉妹都市締結50周年を迎える。その他にも佐賀藩鍋島家・彦根藩井伊家といった伊達家の縁戚関係や、国指定重要文化財「絹本着色豊臣秀吉像」（公財）宇和島伊達文化保存会蔵）にまつわる展示など、様々なアプローチで数多くの特別展が行われてきた。



宇和島市「広報うわじま第515号」1974年から転載

開館50周年記念特別展

そして本年、記念すべき特別展の展示テーマは、開館以来初となる「宇和島城」。宇和島城といえば、築城の名手藤堂高虎が築き、宇和島藩二代藩主伊達宗利が改修した城。現存十二天守の一つとして今でも実際に見ることが出来る。本展では、そんな宇和島城の変遷と共に、伏見城や他の四国現存天守（松山城・丸亀城・高知城）など、城をとおした様々な「繋がり」「ストーリー」を紹介していく。壮大なスケールの本展をおとして、ぜひ宇和島の歴史とつながってほしい。最後に展示の見どころを紹介する。



渡邊 佑輝

宇和島市立伊達博物館 学芸員

見どころ①

限定公開！
二つの重要文化財「秀吉」と「高虎」
絹本着色豊臣秀吉像 西蓮寺蔵



前期展示（10/12~11/4）

見どころ②

豪華絢爛！黄金の茶室が再来！

見どころ③

絵図！屏風！模型！博物館で城めぐり



後期展示（11/6~12/2）

開催期間は
10月12日（土）〜12月2日（月）
詳しくは伊達博物館へ



←伊達博物館ホームページ

城つなぐ



令和6年
10月12日(土) ↓ **12月2日(月)** (全期52日)

〔前期〕令和6年10月12日(土) ↓ 11月4日(月)
 〔後期〕令和6年11月6日(水) ↓ 12月2日(月)

開館時間 / 9時 ↓ 17時 (受付は16時30分まで)

※休館日 / 毎週火曜日。ただし、火曜日が祝日の場合は翌平日。
 ※会期中、一部資料を入れ替え展示します。

観覧料 / 大人・5000円(4000円)、敬老65才以上・4000円(4000円)、
 大学生・4000円(2000円)、高校生以下・無料

※高校生以下・満18歳に達する日以後の最初の3月31日までの方を含む。

※〔内の料金は、団体(20名以上)の場合、割引の併用なし。
 ※障がい者手帳などをお持ちの方(介助者1名を含む)は無料。

宇和島市立伊達博物館開館50周年記念特別展

藤堂高虎と伊達の宇和島城 × 天下人と四国の城郭

開催場所 / 宇和島市立伊達博物館

79810061 愛媛県宇和島市御殿町9番14号
 電話・089512217776 / フォックス・089512217819

主催 / 宇和島市、宇和島市教育委員会、公財 宇和島伊達文化保存会

協力 / 伊賀市(公財)伊賀文化産業協会、西蓮寺、甲賀市水口図書館、
 甲賀市水口歴史民俗資料館、藤堂神社、京都市、京都市考古資料館、
 堺市博物館、丸亀市立資料館、高知県立高知城歴史博物館、松山城総合事務所、
 伊予史談会、愛媛県歴史文化博物館、伊吹八幡神社、芳心会ほか

監修 / 木村宗慎(宇和島市立伊達博物館協議会会長)
 後援 / 文化庁、愛媛県、NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、
 愛媛朝日テレビ、宇和島ケーブルテレビ、愛媛新聞社、読売新聞松山支局、
 朝日新聞松山総局、毎日新聞松山支局、産経新聞社、日本経済新聞社松山支局

現存「三守」より四国四城立面図

〔丸亀城・丸亀市〕史跡丸亀城跡保存活用計画(資料編)2021年より転載

〔高知城・高知県教育委員会〕重要文化財高知城天守修理工事報告書1957年より転載

〔松山城・松山市〕重要文化財松山城天守外十五棟修理工事報告書1969年より転載

〔松山市〕重要文化財松山城天守他六棟保存修理工事報告書2007年より転載

〔宇和島城・宇和島市〕重要文化財宇和島城天守修理工事報告書1962年より転載





文ちゃんどつぼの予土線のあの人に会いたい 9 米農家 渡辺 吉男さん



最寄駅は「大内駅」

文／山下文字
写真／坪内政美



大内駅に停車する1両編成のキハ32

のよ。『あなた
んとこの旦那さ
んに田んぼして
もらえるけん助
からい』言っ
てね、隠し事でき
んわいな』と。
今では10ヘクタ
ールほどの田ん
ぼを管理してい
る。

予土線は、田んぼの中を走る。青々とした緑から黄金色になり、やがて白銀に覆われたかと思えば、水鏡の季節がやってくる。四季を通じて千変万化の景色が広がる。稲作がさかんな三間盆地ならではの景色だ。

「お自慢じゃないけども、オラが元氣なうちはできる限りの米作りをやっつけていこうと思ったらいな」とカッカカと黄門様さながらのふくよかな笑顔で話すのは、農家の渡辺吉男さん（78歳）だ。知り合って10年ほどになるが、その若々しさたるや。黒く日に焼けた二の腕がたくましい。渡辺さんは、二名地区の出身で生まれてこの方、農家一筋。もともとは、「小さな大百姓」の長男だという。

「オラんところは6人兄弟やっつてな、養蚕したり栗を育てたりなんでも作りよった」。

しかし、昭和50年ごろから地区の高齢化は加速。渡辺さんは、当時は肉牛も飼育していた、稲わらは牛の寝床やエサにもなるし、高齢で田んぼを管理できなくなった人たちに代わって米作りも請け負い始めたという。

「母ちゃんには黙ってそんな人らの田んぼ仕事をどんどん引き受けよったのよ。やけどな、『あなたまた○○さんとこの田んぼしてあげるようにしたんとな』言っつてな、バレてしまうのよ。『あなたんとこの旦那さんに田んぼしてもらえるけん助からい』言っつてね、隠し事できんわいな」と。

今では10ヘクタールほどの田んぼを管理している。



相棒の赤いトラクターでポーズを決める渡辺さん

予土線の沿線に広がる田んぼで、渡辺さんが田植えをしたり、稲刈りをしているのを見かけることがある。沿線のあの田園風景は、渡辺さんのような米農家一人ひとりの地道な日々の営みによって形成されているのだ。

このあたりでは、4月になると代掻きが始まり、8月のお盆の時期には新米をいただく。渡辺さんの米作りは、予土線圏域の美しい自然を生み出すだけでなく、その自然を守ることも心にかけている。

あるとき、四万十川の水質について支流の川に流れる田んぼの水が濁っていることを高知県から指摘された。たしかに、代掻きをしてわずか数日後に田植えを始めると、水は濁ったまま川に流れる。ならばと渡辺さんたちは考えた結果、代掻きをして数日待ってから田植えをしてみると、濁りのない水を川に流すことができるようになったのだ。



会えばいつも豪快に笑って話す渡辺さんと私

「農家はな、はよ様に代掻きをして、はよ様に田植えをしたいと思うけん、水がきれいになるのを待てるのよな。田植えがしたいなと思ったら1週間ほどに代掻きをしたらな、水は濁らんということがわかったのよ」。自分たちだけが良かったらええ、というのは違う。「持続可能な農業を地域全体で守っていくためには、それぞれが考えてやらにゃいけん」と渡辺さんは熱く話してくれた。

へこたれず好奇心あふれる渡辺さんは、青春時代のエピソードも尽きない。「高校はな、近永の高校まで毎日自転車に通った。サンパチ豪雪、言つてな、昭和38年のことよ。雪が降っては休み、降っては休みして地面が見えんほど1ヶ月、毎日雪やった。そんな時、地元先輩がアメリカの農業について話すというので、汽車に乗って近永まで聞きに行った。

「アメリカの農業は社長がおるとか、大規模な会社経営をしよるとか、初めて聞くようなことばっかりやったのよ。こりゃ、オラの知らん農業が世の中にある、面白そうやな」と胸を躍らせた。さっそく講演した先輩に声をかけた。「ワシのようなもんでもアメリカに行けるやるか？」と、行ける行けると先輩から太鼓判を押された渡辺さんは、現地での研修に参加すべく準備を進め、アメリカでの農業研修生としてカルフォルニアのカーネーション農家で1年を過ごすことになった。

「オラは、英語も勉強しとらんだけど、一緒に研修に参加した当時大学生やったムカイ君は英語が上手で、仲良うにしてもろうた。もう見るもの聞くもの全てが刺激的でお互いに忘れられん1年になったんよ」と懐かしんだ。渡辺さんは数年前にムカイ君と連絡をとり、再会を果たした時には、もちろん米を抱えて持って行った。

「昭和30年頃、大内駅には貨物列車のための引き込み線もあったのよ。貨車には石炭やら色々な荷物が積まれてな、それはそれは駅も賑おうとった。予土線も人が少のうなあって、経営は厳しいかも知れんけど、この間、JR四国の新しい社長の会見をテレビで見たのよ。『赤字赤字と言つな、路線は維持する』と公共的な使命感を持って意思表示するのを見てまだまだこんな心意気のある人もおるとなと感した。ワシらも元気なうちは米を作つて地域を守つていかんやいけんと思つ」と熱く語る渡辺さん。さっそく新米を炊いて、口に頬張る。やはり米がうまい。この甘くてほっこりとした優しい米をこの先もずっと食べ続けたいと心から思うばかりである。



山下 文子 (やました あやこ)

宇和島市出身、鬼北町育ち。予土線沿線は県をまたぐも「ザ・生活圈」。鉄道を始め、乗り物は何でも大好き。座右の銘は「その角を曲がれば、旅」(※永六輔氏のうけうり)。「四万十の鉄道 予土線」のホームページでコラムを担当。



坪内 政美 (つぼうち まさみ)

スーツ姿で撮影するという奇妙なこだわりをもつ鉄道カメラマン・ロケコーディネータ。各種鉄道雑誌などを執筆する傍ら、テレビ・ラジオにも多数出演。町おこし列車「どつぼ列車」を主宰し、駅スタンプを製作・寄贈する活動を行っている。高知県予土線利用促進対策協議会アドバイザー。

四万十川の
鉄道よどせん



協力：高知県予土線利用促進対策協議会

いのちのはなし グー チョキ パー 9



「にがてだけと にがてだったけど」

文 / 毛利弘子

「毛利さん、料理は苦手やろ。料理教室にききいや」と、退職してすぐ「山の会」で長年一緒にさせてもらっている方から、声を掛けてもらった。いつも山での食事作りの時、私の手際を見て、たまらずアドバイスして下さる。

自他共に認める「料理下手の私」は、即答して入会させてもらったのが、全国組織の「宇和島市食生活改善推進協議会・和霊支部」でした。「私達の健康は、私達の手で」を合い言葉に、食育アドバイザーとしてボランティア活動を行っている団体で、「食会さん」と呼ばれています。

おもな活動内容は、各支部（公民館）で月1回の料理講習会を実施し、減塩料理や骨太クッキング・郷土料理等を作っています。会員は、ベテラン主婦さんが多く、入会時は私が一番若くて、「若い人がするんで」と言われながら、先輩方から手取り足取りとやさしく教えてもらっていました。地域に根ざした活動で、仕事をしていた頃には関わりがなかった方々との交流も魅力の一つでした。

「そろそろ、世代交代してね」と言われて、和霊支部の代表を引き受けることになった時は、「まだまだですよ、大きな鯛もまだ、さばけませんから」と、不安顔の私に「大丈夫よ、鯛はいつもは料理しないからね」と、皆さんが笑顔で背中を押して下さいました。

その後、会員さんの出入りはあるけど、常時30〜35名程の方々と楽しく活動を続けています。この「食会さん」の活動は多様で、生活習慣病予防のための活動や「子ども食堂さん」とのコラボや男性の健康推進に係る食生活の普及活動等があります。中でも地域の食材を使った郷土料理の普及・伝承活動は、小・中・高校生と

の触れ合いもあり、私の好きな活動のひとつです。今では、各家庭ではなかなか作らなくなった「ぶくめん、鯛そうめん、鯛めし、さつま等」の講習会では、子ども達は実に楽しくいきいきと取り組んでくれます。

「初めて丸ごとの鯛をみた!」、「たまごを割ったのは、初めて」等々、嬉しいようなびっくりするようになつづやきが、たくさん聞こえてきます。「生魚・魚は嫌い」と言っていた子どもも、周りの「うまい!」、「こんなに美味しいとは思わなかった」の感想につられてついつい食してみたら、「あれ?美味しいんだ、これなら今までも食べれば良かった」との感想に、私達も思わずニッコリです。

お揃いのピンクのエプロンがとっても似合う私達、子ども達からは笑顔と元気のご褒美をいっぱいもらっています。

宇和島を代表する郷土料理は、鉢盛り料理から生まれたものも多く、先人が地元の食材を無駄にすることなく、おもてなしの心を込めて創意工夫した料理だからこそ、今に至っても食べる人に感動を与えているのでしょう。

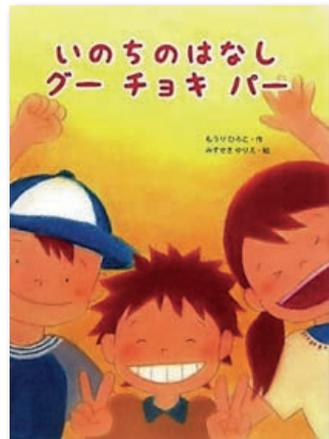
鉢盛り料理は、誰にでもふるまった南予の陽気でおおらかな気質が生み出した食文化でした。昔「母の味」であった郷土料理は、今では「ふるさと宇和島の味」として、大人になった子ども達も、「宇和島に帰って食べたい」と思えるように、次世代に語り伝えていきたいものです。

「ネー! 毛利さんが教えてるの! びっくり! 大丈夫?」と、今でも私のことを良く知っている方々から、よく言われます。一番驚いているのは、私自身で、苦手だったけど、今でも苦手だけど、下手ながら楽しんでいきます。



毛利 弘子プロフィール

- 1952年生まれ 公立小中学校養護教諭を40年経験後 2012年定年退職
ライフワークの性教育の講演や全国大会での研究発表多数
- 受章 / 平成24年愛媛県学校保健功労賞 令和3年文部科学大臣学校保健功労賞
 - 執筆 / 「いのちのはなしグーチョキパー」(エイデル研究所出版)
 - その他 / ・和霊公民館運営審議委員・更生保護女性会副会長
 - 退職公務員連盟中央分会副会長・和霊小学校読み聞かせボランティア
 - カサヨハネ(知的障害児)放課後デイサービス非常勤講師ほか
 - 趣味 / 陶芸・登山・写真・絵手紙・歩き遍路・シーボーンアート



もうりひろこ(著)みずせきゆりえ(絵)
価格 1,572円(税込)

南予の祭り歳時記

蘇家神社の神輿（愛南町深浦）

愛媛大学地域協働センター南予 副センター長

おおもと たかひせ
大本敬久



1971年 八幡浜市生まれ、西予市在住。専門は民俗学・日本文化論。著書に『愛媛の民俗一冠婚葬祭編一』（愛媛県文化振興財団）。愛媛県歴史文化博物館勤務を経て、現在、愛媛大学地域協働推進機構特定准教授。



写真提供／北濱一男

愛南町深浦の蘇家神社にて毎年11月3日に行われる秋祭りでは、高台の神社境内から一八五段もの急な石段を黒神輿、白神輿が担がれて降りていき、地区内で激しく上下左右に練る。南予地方では他に見ることのできない勇壮な神輿として知られている。

神社の祭りでの渡御行列でご神体に乗せる輿が神輿である。形状は四角、六角、八角形などがあり、木製黒漆に金銅、金具付きで屋根の中央に鳳凰ほうおうを置き、軒下に鏡を吊し、台輪の四方それぞれに鳥居と圍垣を配し、台に二本のかき棒を通すのが一般的となっている。この神輿の形式の成立は、天平勝宝4（752）年の奈良東大寺の大仏開眼供養の際に、宇佐八幡大神を迎えるのに用いたことに始まるといわれ、愛媛県での神輿は、貞治3（1364）年の大山祇神社の文書「伊予国第一宮三嶋社大祝職并八節供祭礼等之事」に御田植祭にあたって「御輿二脈」が出たとあるのが初見で、西条市小松町の高鴨神社の天正5（1577）年の祭祀頭文に「御輿守八四人」ともあったりするが、神輿が広く一般化するの

は、江戸時代半ばころからと考えられる。現在、愛媛県内では、松山地方を中心に鉢合わせなど、祭りの中の神輿文化が発達しており、松山市味酒町の阿沼美神社の四角、八角の神輿の鉢合わせや、北条の国津比古命神社の神輿の投げ落としが有名で

ある。祭りの中でご神体を揺さぶり、神威を發動させることを目的であり、そういった神輿文化を発達させた要因は、氏子が「見せる祭り」を意識したことも大きいと思われる。

実際に、東予地方の太鼓台やだんじり、南予地方の牛鬼など賑やかで人目を惹く屋台や練り物が登場する地域では、神輿を荒々しく扱って神輿自体が人目を惹く所作や装飾が施される事例は少ない。中予地方では太鼓台、だんじり、牛鬼といった文化が根付いていないことで、その代わりに神輿の鉢合わせが多く見られるようになったのだろう。

深浦の蘇家神社の秋祭りでは神輿以外にも昔から牛鬼、やぐらと呼ばれる太鼓台、唐獅子（獅子舞）が継承されており、牛鬼とやぐらの鉢合わせも激しく行われる。屋台、練り物文化が隆盛しなかった松山地方とは異なった背景で、激しい神輿文化が成立したようだ。その理由は明らかではないが、深浦が漁港として広範囲からの人、モノ、情報の交流があったこと、地域の景観を象徴するような急な石段を昇り降りする様子を多くの氏子が眺めていたことから次第に人目を惹く神輿の所作が確立されていったことなどが考えられる。南予を代表する勇壮な神輿祭りとして、大切な地域文化資源といえるだろう。

狭心症について！

心臓は休むことなく全身に血液を送り続けています。その心臓に血液を送っている

血管を冠動脈といいます。その冠動脈が動脈硬化などで狭くなり、血流の流れが悪くなる病気を狭心症といいます。狭心症になると心臓の筋肉に送られる血液が少なくなり、心臓は酸素不足の状態になります。初期症状は、ほとんどありませんが、冠動脈の内腔が75%程度まで狭くなると、胸の圧迫感や痛み、動悸、息苦しさなどの症状が現れます。痛みは胸だけではなく肩や左腕、喉、歯などへ広がることもあります。

冠動脈が徐々に狭くなった場合、症状は酸素消費量が多くなる労作時に生じ、安静にすると治まります。また冠動脈に狭窄がなくても、冠動脈の痙攣によって一時的な狭窄を生じることによって起こる狭心症もあります。冠攣縮性狭心症といわれるタイプで就寝中、特に明け方に生じる安静時胸痛が特徴です。

冠動脈の動脈硬化を促進する因子としては、高血圧、高脂血症、糖尿病、喫煙などがあります。動脈硬化は単に血管が固く狭くなるだけでなく、コレステロールが蓄

積して、血管の内側にコブ（プラーク）ができることがあります。このプラークが何かの刺激で破れると、そこに血栓が作られ血管を一気に狭くします。不安定狭心症と言われる状態で、冠動脈が詰まる一歩手前の状態です。胸痛が繰り返し生じ、痛みの程度が強くなったり、間隔が短くなったり、安静時にも痛みが出るような場合には、不安定狭心症が強く疑われます。

完全に詰まると15〜30分ほどでその先の心臓の細胞は壊死し始め、急性心筋梗塞になります。心筋梗塞の死亡率は高く、突然死の約半分は心筋梗塞といわれており、救急搬送され治療が行われても8%前後の方が亡くられています。冷や汗が出るような強い胸痛がある場合、呼吸困難や意識低下がある場合は緊急事態です。躊躇せずに救急車を呼ぶようにして下さい。

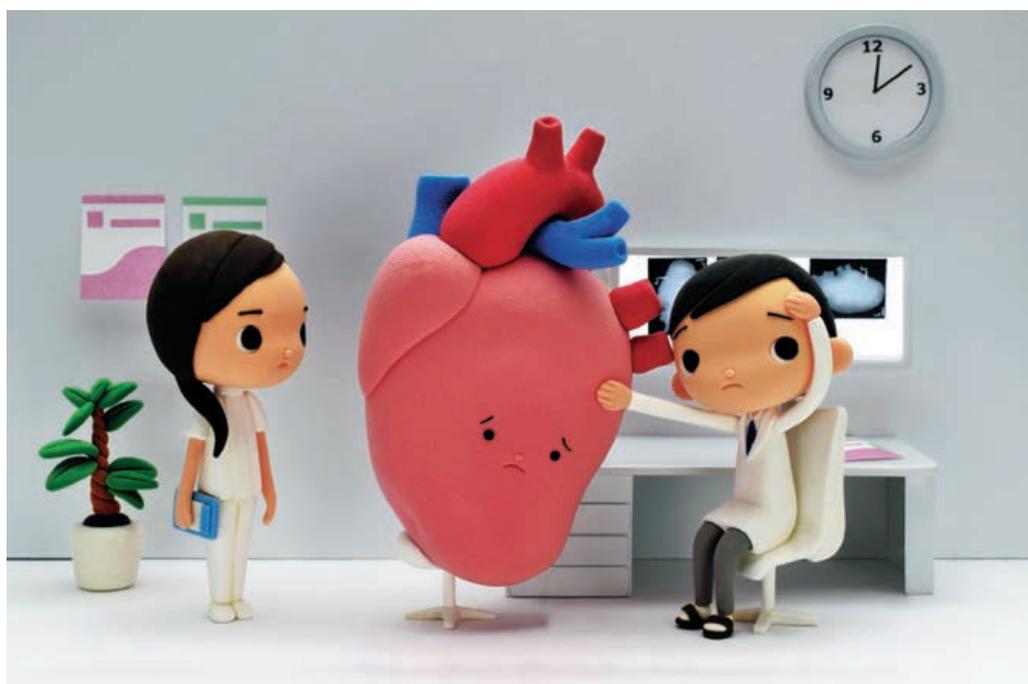
狭心症が疑われた場合、心電図、運動負荷心電図、負荷シンチグラム（核医学検査）、冠動脈CT、冠動脈造影などの検査が行われます。近年進歩してきた冠動脈CTは、低侵襲であり、外来で冠動脈狭窄の判定が可能です。しかし最も詳しく診断できる検

査は冠動脈造影です。血管に小さな管（カ

テーテル）を入れて行う侵襲的な検査で入院が必要ですが、冠動脈疾患の診断や治療に欠かすことのできない検査です。心筋梗塞への移行が疑われる不安定狭心症の場合には緊急で行われることも少なくありません。

狭心症の治療は薬物治療、心臓カテーテル治療、冠動脈バイパス術が代表的な治療法です。冠動脈病変の程度、患者さんの状態、合併症などで治療法が選択されます。

狭心症の治療がうまく行っても、動脈硬化の原因である高血圧、高脂血症、喫煙などがあれば、再発の可能性が高くなります。肥満改善、禁煙、適度な運動などの生活習慣の改善と内服治療が引き続き必要です。



沖内科クリニック
副院長 沖 良隆

食めぐり

骨に大切な栄養素「カルシウム」をとる

管理栄養士として保健指導に携わっていると、時々、主に高齢

の女性から「病院で骨粗しょう症って言われたんやけど、食べ方はどうしたらいい？」と尋ねられることがあります。

そういった場合は、一番に骨の主成分であるカルシウムがとれているかを確認しています。けれども、カルシウムを多く含む食品は知っていたとしても栄養計算して食事をしている訳ではないので… 本当に体に必要なカルシウム量が満たせているのかわかりにくい状況です。そこで今回は、「カルシウム」のとり方について一緒に考えてみたいと思います。

国は、一日にとるカルシウムの推奨量を、次の表のとおり定めています。

年齢	推奨量 (mg/日)	
	男	女
1～2歳	450	400
3～7歳	600	550
8～9歳	650	750
10～11歳	700	750
12～14歳	1000	800
15～29歳	800	650
30～74歳	750	650
75歳以上	700	600

※日本人の食事摂取基準 2020 年版 (厚生労働省) から抜粋

経年の国民健康・栄養調査では、カルシウムはすべての年齢において慢性的に不足しており、直近の令和元年調査では、20歳以上のカルシウム摂取の平均値は男性503mg、

女性494mgと推奨量よりも大変少ない状況でした。

それでは「何を」「どれくらい」食べたらカルシウム量が満たせるのでしょうか。カルシウムは牛乳・乳製品、大豆製品、魚介類（特に骨まで食べる小魚、干しエビ等）、野菜類（特に青菜類）、海藻などに多く含まれています。例えば700mgを満たすのであれば次の食品を食事に加えるとよいでしょう。

カルシウムが多く含まれる食品	カルシウム (mg)
牛乳コップ1杯 200ml	220
ヨーグルト 100g	120
豆腐1/4丁 100g	93
ちりめんじゃこ 大さじ1 (6g)	31
乾燥わかめ 大さじ1 (2.7g)	24
小松菜1/2束 150g	255
合計	743

※日本食品標準成分表 (八訂) 増補 2023 年 (文部科学省) により算出

カルシウムは体内で吸収されにくい栄養素ですが、「牛乳・乳製品」は中でも吸収率が高いので毎日欠かさずとって欲しい食品です。また、ビタミンD、たんぱく質等カルシウムの吸収を高めてくれる栄養素もあるので、偏らず様々な食品を組み合わせて食べていただくことも大切です。主食、主菜、副菜をそろえて、バランスよく食べることが基本になります。

今回は、旬であるさつま芋を用いた、カルシウムたっぷりのおやつをご紹介します。

さつまいものいが栗

(材料) 6個

- さつまいも 中1個 (150g)
- 砂糖 大さじ2弱 (15g)
- スキムミルク 大さじ1 (6g)
- ベビーチーズ 1個 (13.5g)
- 卵 1/2個
- 小麦粉 適量
- そうめん 1/2束 (20g)



(作り方)

- ① チーズは6等分に切っておく。そうめんは1cm長さに折っておく。
- ② さつまいもは皮をむき、適当な大きさに切って茹でる。やわらかくなったらザルにあげて湯をきり、ボールに入れてマッシャー等でつぶす。砂糖とスキムミルクをまぜる。
- ③ ②を6等分にし、①のチーズを芯にして丸める。
- ④ 小麦粉、溶き卵、そうめんの順に衣をつけて、低温 (160～165℃) の油できつね色になるまで揚げる。

※1人分 (2個) エネルギー 216kcal、カルシウム 74mg



和田 広美

管理栄養士
柑橘ソムリエ
シーフードマイスター
愛媛大学地域再生マネージャー

お気楽 俳句

「名は体を表す」と言われますが、俳句の場合はどうでしょう。変わった俳号、駄洒落のような俳号でも素敵な句を作る方が沢山。全国的な賞をとる方もいます。俳号と俳句のギャップをお楽しみください。

(小野更紗)

拭き上げて**鯖雲**高きリアガラス

はぐれ枳餅

みの虫に好かれて部活行けません

押見げばげば

秋の雪此処は乳房のあつた場所

ちべた店長

冒険の続き**フード**に**木の葉**かな

ありあり

お歳暮の読めないけれど佳いお酒

いかちゃん

元日やニキビは鼻の東側

川嶋ほんだ

パドックの湯気立つ馬糞にも**淑気**

多喰身・デラックス

白鳥と知れば澄むなり沼のこゑ

沼野大統領

吹雪抜け来し馬**櫓**に子がおらぬ

北野きのこ

籍を入れても一人(「咳をしても一人」のギャグ)

大塚桃ライス

以下同文的な三年**卒業証書**

大黒とむとむ

狂ふ蝶ひかりをざんと持ち上げる

常幸龍BCAD

積込みを終えて**花冷**だったのか

ヒマラヤで平謝り

花散るや水面のしわを伸ばしつつ

濃厚エッグタルト

しづかなる地割れの**祠竹の秋**

モツアレラえのくし

剥きたての果皮を**夏野**の螺旋とす

ぐ

日に飢えて**ピラニア**色の**砂日傘**

ギル

二人目の山本も来て**泥鱈鍋**

キートスばんじょうし

幾万の**向日葵**白くエノラ・ゲイ

初蒸気

*色文字が季語です

構成：小野更紗

1987年より宇和島市在住 息子の俳句甲子園出場を機に俳句を始める
いつき組 じゃこ天句会(毎月第2金曜7時より鶴島公民館)



*しんきな：遅い、のろい

絵：律川エレキ

1966年宇和島市生まれ 奈良市在住
2000年頃より俳句新聞や雑誌「100年俳句計画」等に挿絵を描く。映像作家 俳号大塚桃ライス

おすすめの本

「未来のソフィーたちへ」

ヨースタイン・ゴルデル：著 柴田さとみ：訳
NHK出版(2024年7月刊)1980円(税込)

世界的ベストセラーとなった“世界一やさしい哲学小説”「ソフィーの世界」(1991年・日本語版1995年)から30年、著者初のエッセイ。翻訳もすばらしく難しい哲学の話も、すんなり読み進められる。6人の孫たちに語りかけるように、自身の体験や自然環境、思想など幅広いテーマの話をして、最後にこう問いかける。「人類の文明と生命の基盤は46億年の地球の歴史の中で、わずかこの150年の間に滅亡の危機にさらされている。しかも、その手を下しているのは私達(人間)自身だ。21世紀の終わり、世界はどんなふうになっている？」と。世界中で異常気象が叫ばれても昨日と変わらない日常を送る私達は、いつになったら正しい方向へ舵を切ることができるにだろう。



協力：岩崎書店 宇和島市錦町4-16 TEL.0895-22-0528



■アトリエ堀端絵画教室(べにばら画廊) <https://benibara.webhop.info/>

宇和島市本町追手 2-8-6 TEL. 0895-22-1104 コメント: 吉田 淳治



作品名:『いろとりどりの』(アクリル)
作者: 西村京夏 (子どもクラス)

近代に始まった、かたちの単純化
ごく自然に表現するきょうかちゃん
すきな色をベタッと塗る楽しさ
美しい色面の組み合わせでかたちを生む
斜めに切った背景も見事にマッチ



作品名:『楽しい絵画教室』(水彩)
作者: 藤村葵 (子どもクラス)

かつてお母さんも通ったアトリエ
ここにあるもの、この空間、このにおい
澄んだ目と心が動き、隅々まで捉える
そして、あおいちゃんも大人になってゆく
いい思い出としてどこかに残ればいいな



作品名:『積み木』(水彩)
作者: 繁木瑞穂 (大人クラス)

デザインされ作られた汽車形積み木
それをモデルに絵に再現した
デザインには相手があり、絵は自らを描く
デザイナーとしてもあろうとする繁木さん
その“あわい”、筆をとる気持ちの置き所は?



■アトリエぱれっと <https://art-palette.wixsite.com/mysite>

宇和島市伊吹町甲 1083-1 2F TEL.090-7784-4703 yuka@art-palette.com コメント: 清家由佳



作品名:『お昼寝』(油絵)
作者: 上甲喜代

上甲さんは人にも動物にもいつも
愛に溢れている方です。この作品
もお孫さんへの愛情でいっぱいな
のが伝わってきます。これからも
見る人を幸せに出来る作品を描き
続けてください。



作品名:『宇宙の町』(水彩)
作者: 小川陽菜 (小5)

夢あるワクワクする未来の絵で、いつま
でも見ていられます。陽菜ちゃんは絵
を描く事が大好きで、どんどん表現の幅
が広がっています! 色彩感覚と技術力、
発想力! どれも素晴らしいです! これか
らが楽しみです!



作品名:『アトリエ』(油絵)
作者: 末廣典子

雰囲気のある若い女性をよく捉えています。
画力もある末廣さんは自己表現力にも長け
ており、ストライプのシャツや肌まで独自
の表現力で素敵な作品に仕上がっています。
とてもいい絵だと思います。これからも末
廣さんがどんな絵を描くのか楽しみです!



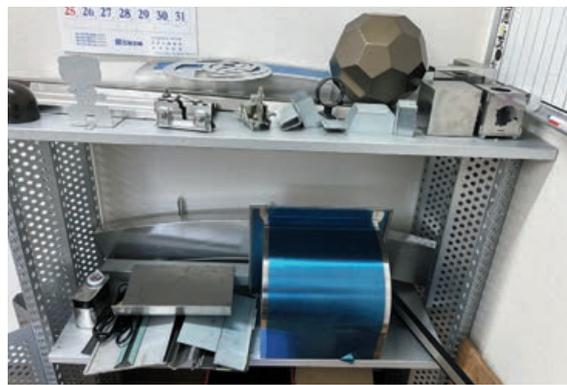
有限会社 清水板金 専務取締役 清水 久雄

「金属で地域に貢献 頼られる会社を目指して！」

板金という名前のためか、車を修理できるのかと聞かれることがよくあるのですが、弊社は建築板金の会社です。建築板金とは金属屋根や外壁、樋など建築物に付随する金属工事を取り扱う業種です。弊社は創業以来、多くの建物に板金屋として携わってきました。

その一方で近年では、板金業から少し裾を広げ、金属加工業を行っています。私は主に金属加工の部門を担当しています。弊社は鉄板やステンレス、アルミを加工し、建築物に用いられる金属製品を主として製作しています。継続的に設備投資を行ったことで扱う製品が増えたこともあり、金属加工の割合が大きくなってきました。今では板金工事と同等の売上があります。

父が建築板金業の個人事業主として独立、後に平成3年8月に法人化を行い有限会社として設立致しました。



製品サンプル

ている様子を見ると、当時の苦勞などが蘇り感慨深いものであります。建築業界相手では受けの営業となることが多く、需要もその時の景気や情勢に左右されるという問題点もあります。そこでもう少し裾を広げ他の業界に金属加工分野で貢献できないかと考えました。私は何かヒントを模索し、地元商工会や消防団、若手経営塾等の異業者との交流を積極的に行いました。すると地元のイベントで使用する金物やイルミネーションの装飾品、鉄板焼きに使用する鉄板など、今までと違った製品を作ることができました。まだまだ利益を出せるようなものではありませんが、今後飛躍するための土台となつてくれるものと期待しています。



工場外観

他にも、食品加工場の設備の修繕や個人の農家さんから農機具の補修などの依頼を頂くようになり、金属加工の将来性を感じています。今後は、困ったら最後にあそこに行ってみようと思つて頂ける「金属加工の駆け込み寺」のような存在になれるように頑張ります。その為にも、多くの人に弊社の存在を認知頂けるようSNSの有効活用を行うと若手経営塾での最後の発表で宣言致しました。しかし、現状まだ全く活用できていないので、これから頑張りたいと思います。活用始めましたら皆さんフォローお願いします！



有限会社 清水板金 宇和島市吉田町立間 2-2456-1 (工場) 0895-49-3609 (工場)

うわしん「南予活性化若手経営塾」とは、宇和島信用金庫において1年間、南予地域の産業活性化をはかるために創業者や2代目、3代目の若手経営者を育成し、企業経営体質の健全化・成長のためのセミナー・個別指導・異業種交流等をおこなっていて、地域内の中小企業の経営レベルを向上させる目的で開講されています。

斗酒百篇



「こんな勘違いは、めったにないと思いますが、実際に友人から聞いた話です(笑) 方言は面白いですね〜♪」



作者プロフィール

本名/城内 章 1957年 宇和島生まれ 愛知県在住
 宇和島南高等学校卒 職業/建設業
 趣味/漫画イラスト作成
 著書に「のらとおばあちゃんの虹」



キリリとした辛口です。

はぎの露 純米吟醸 ひやおろし
 720ml 1,590 円 (税別) 1800ml 2,980 円 (税別)

(株) 福井弥平商店 滋賀県高島市勝野 1387-1

<https://www.haginotsuyu.co.jp/>



★今年のひやおろし

今年は、新設した冷蔵庫で例年より低温で貯蔵しました。その結果、適度な熟成具合で調和のとれたキレイに旨味が広がる仕上がりになりました。

速醸酒母と生酛酒母による2種類の純米吟醸酒をブレンド。味わい深さの中に軽快さを併せ持つ。

はし 土師 酒店

宇和島市広小路 2-58 ☎ 0895-24-7888

営業時間: 10:00 ~ 20:00 定休日: 日曜日

※斗酒百篇(としゅひゃっぺん)とは たくさん酒を飲みながら、たくさん詩を作ること。古代中国の唐の時代、数多くの詩を作った李白のことを杜甫が『飲中八仙歌』の中で褒め称えた言葉。 題字/矢間大蔵



うわしん 自動解約付定期積金

金利

〈期間 1年～2年〉

年 **0.20%**

〈期間 3年～5年〉

年 **0.30%**

対象 個人・法人

金額 1,000円以上 (1,000円単位)

期間 1年、2年、3年、4年、5年

掛込み方法 毎月掛込み (自動振替)

〈注意事項〉

- ・本商品は預金保険制度の対象商品です。
- ・中途解約の場合は金庫所定の解約利率を適用し、お手続きが必要となります。
- ・金利は税引き前です。お受け取りになる利息については復興特別所得税が追加課税され、20.315%の税金がかかります。
- ・新規で契約の際には、お手続きが必要です。
- ・詳しくは商品概要説明書をご覧ください。



「つなぐ」は、こちらでどうぞ。

- 宇和島市 (本庁、津島支所、吉田支所、三間支所、中央図書館、吉田図書館、中央図書館津島分館、生涯学習センター、パフィオうわじま、市立宇和島病院、伊達博物館、畦地梅太郎記念美術館、歴史資料館)
 - きさいや広場 ● 道の駅みま ● シロシタ
 - 宇和島商工会議所 ● 南楽園 ● かどや (駅前本店・弁天町店・味奈味)
 - ハイウェイレストラン宇和島 ● 和日輔 ● 福 DON
 - 盛運汽船 ● 岩崎書店 ● 木屋旅館 ● はまゆう薬局 ● ひまわり薬局 ● JR宇和島駅 ● JR松山駅 ● 小野商店 (津島)
 - 安藤コーヒー ● べにばら画廊 ● アトリエぱれっと ● 香川・愛媛 せとうち旬彩館 (東京) ● 宇和島信用金庫各支店 他
- 「つなぐ」の発行は、新春号 (1月)、春号 (4月)、夏号 (7月)、秋号 (10月) です。 ※「宇和島クラブ」協賛業者



宇和島信用金庫

——この街が好き、この街と未来を拓く——